

## 《公開用感染制御相談事例集(Q&A)》

相談事例No.

区分 洗浄・消毒・滅菌・再利用

### 【質問】

1. 陰部洗浄用ボトルの使用後の処理はどのようにしたらよいのでしょうか？
2. ポータブルバケツの洗浄はブラシ1本を使い回してもいいのでしょうか？  
また、使用後のブラシの処理はどのようにしたらよいのでしょうか？
3. 尿道留置カテーテルが入っている場合の、尿の回収容器が人数分確保できない場合の処理はどのようにしたらよいのでしょうか？

### 【回答】

- 1: 陰部洗浄を行う際、排泄物が外側に付着している可能性があり、現在行われているような次亜塩素酸ナトリウム液での消毒は有効です。さらに、湿ったまま置いておくと細菌の付着や繁殖の原因になるので、洗浄後食器乾燥機などで速やかに乾燥できるようにされると、なおよい対策になります。
- 2: ブラシは、その都度洗浄を行えば、再使用による別の患者への微生物伝播の危険性は低いと考えます。さらに、使用後はブラシを洗浄し、水をよく切り乾燥させます。ブラシの汚染がとれなくなったり、毛先が痛んできたら速やかに交換することも必要です。
- 3: 尿廃棄時の交差感染を予防するためには、患者毎に廃棄容器を交換する必要があります。廃棄容器が不足している場合は、容器にビニール袋をかぶせて使用し、患者ごと

に新しい袋に交換するといった方法も紹介されています ( インフェクションコントロール 2011年秋期増刊 )。この場合、尿量はバックの目盛りでみることになります。

また、廃棄容器が排尿口の先端に接触しないように注意しながら廃棄したり、手袋 ( できればエプロンも ) を 1 患者ごとに交換をするといった基本的な対策も行います。